

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	農業基盤整備促進事業			事業番号	20-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部	辻 雅弘	農業振興課農林整備担当	樋口 明	

計 画 (Plan)

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	1	地域の産業がさかんなまちをつくる	
		施策	20	地域とつながる都市農業・林業づくりの推進	
予算事業名	農業基盤整備促進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成24年度	～	終了年度	平成31年度
関連法令等	神奈川県土地改良事業等補助金交付要綱				
国・県の計画等	土地改良長期計画		計画期間	平成24年度～平成28年度	
関連個別計画	農業基盤整備促進事業計画		計画期間	平成26年度～平成28年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	下小稲葉地区の水田地帯においては、用排水路の老朽化により営農に支障を来しており、また地区両側の河川(歌川、笠張川)の水位が高いことから降雨時に湛水被害が多発している状況で、地元農家から改善を強く求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	用排水路の新設及び更新を行い、また、狭小な農道を拡幅整備することにより当地域の営農条件を改善し、生産性の向上を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	当地域の耕作者				
事業内容 (手段、手法など)	・農業経営と農村環境の向上を図るため、下小稲葉地区の農業基盤施設整備計画を策定し、地区の課題である水路の整備を優先して進めていきます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	計画・測量・設計	—	測量		
	水路整備工事	新規工事実施	—		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	水路の整備延長	測量	水路 L=350m	測量	

 事業実施 (Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	国庫補助金を活用した事業進捗を滞りなく行えるよう、県及び地元関係者との調整を行いながら取り組みを進めます。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	計画・測量・設計		-	
	水路整備工事	新規工事実施	工事実施	
実施した取組の内容	水路L=205m整備			
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	水路の整備延長	測量	水路 L=143m	水路L=205m

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		11,597		千円	9,090		千円		
内訳	国県支出金 ①	8,118		千円	6,153		千円		
	地方債 ②	3,400		千円	2,300		千円		
	その他特財 ③	0		千円	0		千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	79		千円	637		千円		
国県支出金の内容		農地耕作条件改善事業補助金(国50% 県20% 市30%)							
コスト	その他特財の内容	受益者負担 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期					
	その他								
人件費	正規職員	0.19	人	1,644	千円	0.19	人	1,659	千円
	その他の職員	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.19	人	1,644	千円	0.19	人	1,659	千円
トータルコスト (a)+(b)				13,241	千円			10,749	千円
単位当たりコスト	対象数	定義		当地域の耕作者		単位		当地域の耕作者	
		対象数		151	戸	151		戸	
		総事業費 / 対象数		87,689	円	71,185		円	

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input checked="" type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	C	左記判断理由	平成28年度未施工L=205mの水路整備を実施し、全体整備延長L=350m完成することができました。平成29年度予定していた測量調査については、農地耕作条件改善事業に振り替えて実施しました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	事業規模や整備内容により、一律に比較出来ない事業です。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	排水機能が損なわれている土水路をU字溝で整備することにより、効率的な営農が図られます。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	A	左記判断理由	補助金を有効に活用し、農業基盤整備を進めることができました。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	財源となる国庫補助金と県補助で補助対象事業費の70%を占めることから、補助金の確保が重要となります。
次年度以降の取組の方向性	国庫補助金を活用した事業進捗を滞りなく行えるよう、県及び地元関係者との調整を行いながら取り組みを進めます。
所管部長による総評	下小稲葉地区の農業経営の安定化と農村環境の向上を図るため、本事業の推進は不可欠であり、今後も計画的な基盤整備を進める必要があります。